

「特別用途食品、特定保健用食品及び機能性表示食品の買上調査」 のロジックモデル

| 現状把握 ・課題設定 | インプット (資源) | アクティビティ (活動) | アウトプット (活動目標・実績) | アウトカム (成果目標・実績) | インパクト (国民・社会への影響) |
|---|--|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・過去に調査した結果、関与成分等の含有量が表示値を下回る事例があった。 ・特別用途食品及び特定保健用食品の許可等件数は、それぞれ65件及び1,073件 (平成31年4月30日現在) ・機能性表示食品の公表件数は、2,629件 (平成31年4月30日現在) | <p>予算:</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 16百万円 平成30年度 16百万円 平成29年度 16百万円 | <ul style="list-style-type: none"> ①販売されている特別用途食品、特定保健用食品及び機能性表示食品の買上・関与成分等の含有量の分析調査 ②調査結果に問題が確認された場合、事業者への確認・必要に応じた指導等 | <ul style="list-style-type: none"> ①調査品目数 目標: 年100品程度 (令和元年度実績) <ul style="list-style-type: none"> ・特別用途食品 5品 ・特定保健用食品 40品 ・機能性表示食品 60品 ②調査結果を踏まえた対応 (令和元年度実績) <ul style="list-style-type: none"> ・関与成分等が表示どおり含有されていた品目数: 104品 ・内容確認中: 1品 ③調査結果の公表 | <ul style="list-style-type: none"> 【短期】 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者庁から指導を受けた事業者の不適切表示商品の流通防止・定期的な品質管理確認の促進 【中期】 <ul style="list-style-type: none"> ・調査事業の結果を公表することによる事業者(買上調査の対象品目以外の商品を販売する事業者を含む。)の品質管理の質の向上 【長期】 <ul style="list-style-type: none"> ・健康や栄養に関する表示制度に対する消費者の信頼性の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の誤認を招かない、自主的かつ合理的な商品選択に資する表示制度の適正運用 (調査結果の情報提供を含め適正な表示による消費者への情報提供) |